

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	第2回寺ヶ池公園リニューアル事業検討委員会
2 開催日時	令和8年3月13日(金) 午後3時から
3 開催場所	802会議室
4 会議の概要	別紙会議要旨のとおり
5 公開・非公開の別 (理由)	公開
6 傍聴人数	0名
7 問い合わせ先	(担当課名) 成長戦略局 成長戦略部 まちなハード戦略室 まちデザイン課 (内線 443)
8 その他	

*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

第2回河内長野市寺ヶ池公園リニューアル事業検討委員会 会議要旨

○開催日時

令和8年3月13日（木）午後3時から午後5時

○開催場所

河内長野市役所 802 会議室

○出席者

加我委員、長瀬委員、巽委員、江川委員、皆田委員、須田委員、奥開委員、野村委員、木ノ下委員、西口委員、赤松委員（欠席）、森委員（欠席）

○傍聴者

0名

○会議要旨

事務局において、公園全体の植栽景観設計の説明を行った。

（資料本編 p1-14、参考資料 2, 3）

委員より、次のとおり意見があった。

【公園全体の植栽景観設計について】

- ・ 寺ヶ池の眺望確保のために樹木の伐採箇所を増やすべきではないか。
⇒樹木を過度に伐採すると、寺ヶ池を眺めた際に背景となる対岸の樹林地とのバランスが損なわれるため、対岸も含めた景観全体を考慮して検討している。（事務局）
- ・ 剪定しても数年後に再び樹木が繁茂し、眺望が失われるのではないか。
⇒剪定後の維持管理については、維持管理方針を策定し、指定管理者と協力して効率的に植栽景観を維持していく予定である。（事務局）

【防犯・安全対策について】

- ・ 樹木の根上がりによる園路の変形について、現況を踏まえ安全管理を検討いただきたい。
- ・ 園路の一部が通学路にもなっていることを踏まえ、既存の照明位置も考慮しつつ、植栽による死角を解消し、女性や子どもが安心して利用できるという。

- ・ 転落防止柵や縁石などの工作物については、安全性だけでなく周辺の景観にも配慮した色調や形状となると良い。
- ・ 寺ヶ池周辺の転落防止柵については、釣り客の侵入等の課題も踏まえて、柵の設置位置や高さ等を検討していただきたい。

事務局において、四季の広場周辺基本設計の説明を行った。

(資料本編 p15-24、参考資料 4, 5)

委員より、次のとおり意見があった。

【防犯・安全対策について】

- ・ 子どもたちの安全確保のために、遊具広場周辺にフェンスを設置する方法も考えられる。

【水景施設について】

- ・ 水遊び場については、維持管理費の抑制を前提に、季節限定利用や簡易的な水景施設とすることが望ましい。
- ・ 駐車場から水景施設の視線対策など、安全面にも配慮してほしい。

【手洗い場について】

- ・ 水景施設を設ける場合、近くに更衣室や手洗い場が必要ではないか。
- ・ 手洗い場の場所については、子どもの行動範囲を考慮して検討していただきたい。

【トイレについて】

- ・ ビオトープまでの遊び利用を想定しているのであれば、わんぱくゾーンの間地点にトイレがあった方が良くもしい。

【ベンチについて】

- ・ わんぱくゾーン内の芝生広場や遊具広場に設置するベンチについては、座った際の景観にも配慮して検討されると良い。

【利活用・にぎわい創出について】

- ・ 提案されているように、日常利用とイベント利用を組み合わせ、平日・休日を通

じて利用される公園になると良い。

- ・ 女性や子どものニーズを踏まえた公園であってほしい。

【駐車場・アクセスについて】

- ・ 団体利用やバス対応、時間帯による使い分けについても配慮していただきたい。
- ・ 主園路からの見え方や利用動線にも考慮された駐車場になると良い。

【植栽について】

- ・ 遊具広場周辺のユリノキについては、緩衝帯とならないよう、樹木間隔を確保し、視線の抜けを意識して配植していただきたい。
- ・ 新植する桜の品種については、開花時期が長い品種を基準に選定してはどうか。

【その他】

- ・ 犬の散歩利用が多いため、管理面の課題はあるもののドッグゾーンの整備についても検討の余地がある。

○今後の予定

- ・ 来年度も実施設計等の進捗状況に応じて、委員会を開催する予定である。

以上

第2回

河内長野市寺ヶ池公園リニューアル事業検討委員会

日時：令和8年3月13日（金）15：00～17：00

場所：河内長野市役所 802会議室

議 事 次 第

1. 議 事

1. 公園全体の植栽景観設計

- (1) 空間ゾーニングと課題の整理について
- (2) ゾーン別の植栽整備方針について

《質疑応答》

2. 四季の広場周辺基本設計

- (1) ゾーニングについて
- (2) 市民意向調査（WS・社会実験）について
- (3) 基本設計図について
- (4) 各ゾーンの設計方針について
- (5) 植栽計画について

《質疑応答》

2. その他

《配布資料》

- 参考資料1 第1回河内長野市寺ヶ池公園リニューアル事業検討委員会 会議要旨
- 参考資料2 樹木調査写真集
- 参考資料3 樹木分布図
- 参考資料4 市民意向調査について
- 参考資料5 四季の広場_樹種検討資料

第2回河内長野市寺ヶ池公園リニューアル事業検討委員会

資料

< 目次 >

1. 植栽景観設計
 - 1.1 空間ゾーニングと課題の整理について
 - 1.2 ゾーン別の植栽整備方針について
2. 四季の広場周辺基本設計
 - 2.1 ゾーニングについて
 - 2.2 市民意向調査（WS・社会実験）について
 - 2.3 基本設計図について
 - 2.4 各ゾーンの設計方針について
 - 2.5 植栽計画について

- 【参考資料-1】 第1回河内長野市寺ヶ池公園
リニューアル事業検討委員会 会議要旨
- 【参考資料-2】 樹木調査写真集
- 【参考資料-3】 植栽分布図
- 【参考資料-4】 市民意向調査について
- 【参考資料-5】 四季の広場_樹種検討資料

令和8年3月13日（金）



1. 植栽景観設計

1.1 空間ゾーニングと課題の整理について

■現況樹木調査

- 植栽景観設計を検討するにあたりまず公園全域について、現況の樹木調査を実施し、樹種、規格、活力度等を把握した。
- 合せて、根上がりなど動線阻害要因となっている樹木や、寺ヶ池への眺望等景観を阻害している樹木についても整理した。

■空間ゾーニングと課題の整理

- 現地調査の結果をもとに、樹種や景観形成のまとまりに応じて、ゾーニングをおこなった。
- ゾーンごとに植栽および景観に関する課題を整理した。

【植栽景観特性分析】

北側マンション横広場～弁天山広場

北側マンション横広場から弁天山広場北側までは、園路沿いに高木が少なく、低木も低く剪定されているため、寺ヶ池を広範囲に一望できる空間として整備されている。



弁天山広場

寺ヶ池の西側では、最も広い溜まり空間である。寺ヶ池鎮守や石碑があり、その周辺の植栽（クスノキやケヤキ）から厳かな印象を与える。一方で、広場空間としては、高木に囲われており、落ち着いた空間であるが、やや圧迫感も感じられる。



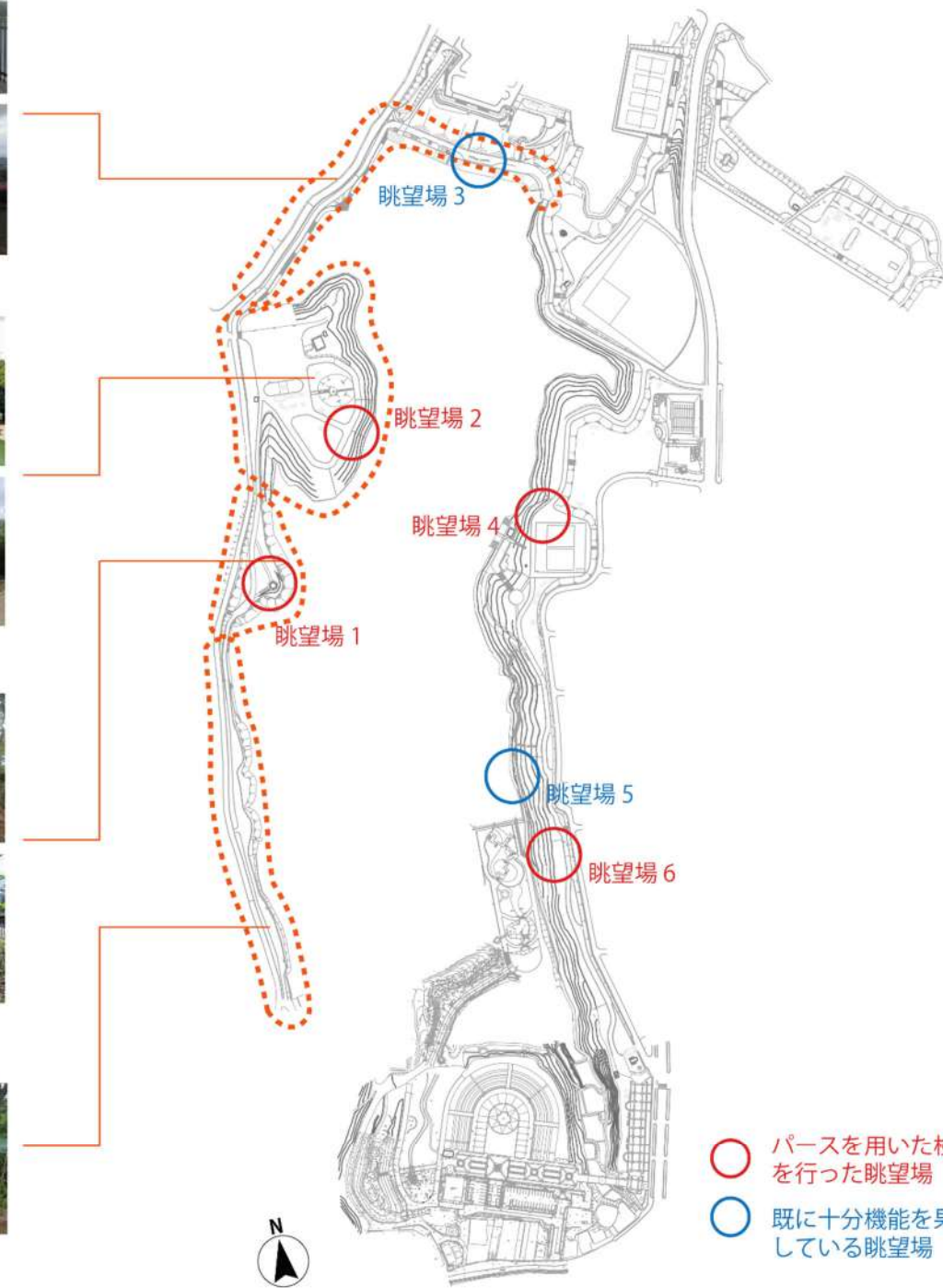
西側展望所付近

対岸の樹林を借景に寺ヶ池を望むことができ、秋には紅葉を楽しめる空間である。ケヤキやアメリカカフウによって緑陰が創出され、曲線の園路沿いの並木も美しい。一方で、四阿北側の園路については、園路幅員が狭くなっており、高密度・視線高さ付近にある低木によってやや圧迫感が感じられる。



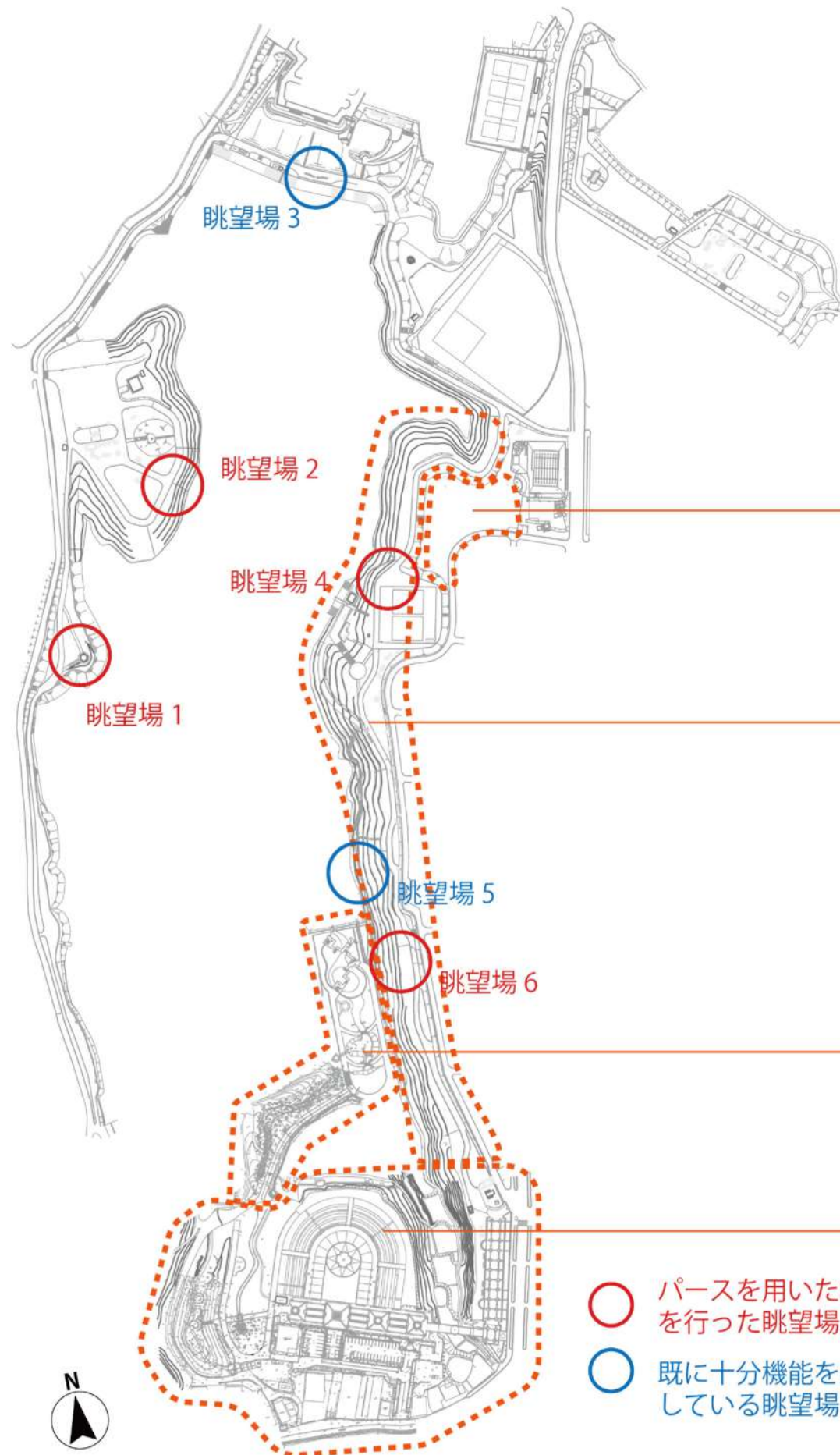
西側展望所～四季の広場周辺

緑陰が確保された園路空間で、高木の隙間から寺ヶ池が見え隠れするシーケンスを楽しむことができる。



- パースを用いた検討を行った眺望場
- 既に十分機能を果たしている眺望場

【植栽景観特性分析】



- パースを用いた検討を行った眺望場
- 既に十分機能を果たしている眺望場

プール横広場

周囲を高木で囲われた空間であり、密度の高い高木の枝葉によって、やや圧迫感を感じる。一方で、対岸から寺ヶ池を望んだときの樹林景観の一部を構成する役割を果たしている。



ぎんなん通り～野球場

クスノキやケヤキなどによって、囲われ感と十分な緑陰が確保されており、散歩利用に適した落ち着いた空間となっている。また、東側の園路は公園内で最も近くに寺ヶ池を見ることができる。このエリアの樹木については、対岸から寺ヶ池を望んだときの樹林景観を主に構成する役割を果たす。



菖蒲園

周囲の樹林や南側の果樹園を借景として取り入れながら、欧州の丘陵地を想起させるような空間として整備されている。また、樹林地によって、適度な囲われ感があり、落ち着いて植栽景観を楽しむことができる。

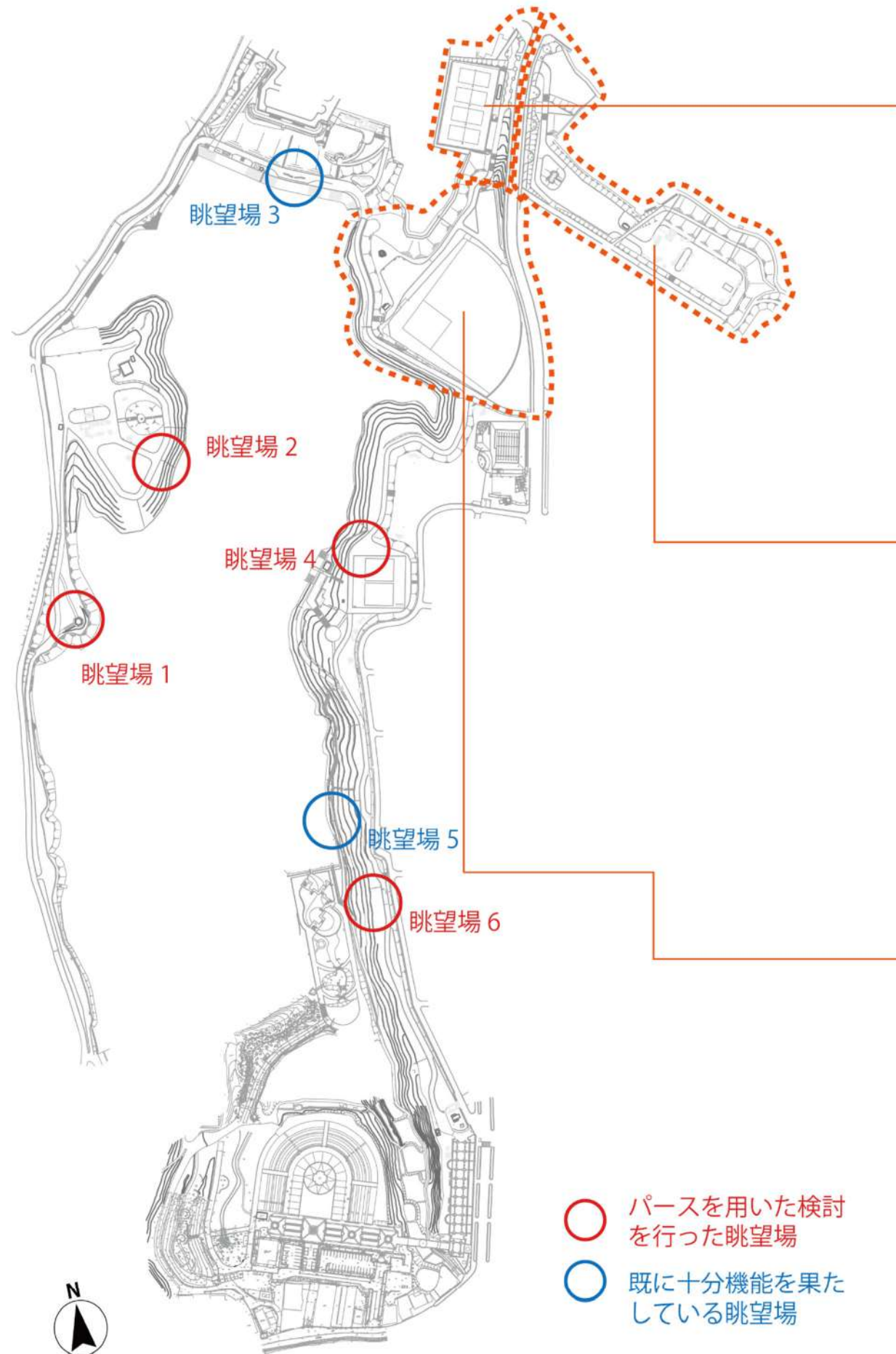


四季の広場周辺

イチョウの黄葉・アメリカフウの紅葉、ミモザの花など、その名のとおり四季の彩りに長けた空間である。広場内では、適度な囲われ感が感じられるが、東側の道路からは樹木によってやや視認性が低下している。シンメトリーな樹木配置や舗装パターンによって洋風の雰囲気を感じられる。



【植栽景観特性分析】



公園エントランス

南海千代田駅からの公園エントランスであり、クスノキやケヤキによって、**緑陰が創出**されている空間である。**秋には紅葉**が楽しめる他、公園エントランスとして**力強い景**を創出し、**緑のトンネル**が心地よい。一方で、夏季には、**やや緑量が多く、暗い印象**を与えやすい。



こども園前広場

公園北側の園路から**ソメイヨシノ**の植栽景観が美しく、広場内からも成長したクスノキやケヤキの**緑**を楽しめ、公園東側にある**金胎寺山**を借景に取り入れながら**周囲の山々と一体**となった植栽景観を作り出している。一方で、エリア全体で**ソメイヨシノ**がクビアカツヤカミキリの被害を受け、多くが枯死している。



野球場周辺

クスノキやケヤキによって、**緑陰が確保**された園路空間で、**落ち着いた**ある歩行空間が提供されている。展望所からは**木々の隙間**から**寺ヶ池**が望むことができるが、展望所内の**木々が鬱蒼**としており、**やや近づき難い印象**を与えやすい。



【植栽ゾーニング検討図】

A：紅葉・寺ヶ池の学びゾーン

- ・寺ヶ池への眺望スポットや寺ヶ池鎮守・石碑等のスポットを活かした学びのゾーン
- ・景色を楽しんだり、広場で遊んだりできる比較的最長い時間滞在できる空間を創出

B：紅葉・桜の園路ゾーン

- ・紅葉や桜など季節感を感じながら、木々の隙間を見え隠れする寺ヶ池を楽しめるゾーン
- ・主に散歩等の短時間の滞在ができる空間を創出

C：花菖蒲の庭園のゾーン

- ・周囲の樹林を借景に、花菖蒲やソメイヨシノ、イロハモミジ等季節の移り変わりを楽しめるゾーン
- ・植栽景観を楽しみ、比較的最長い時間滞在できる空間を創出

D：緑・桜のエントランスゾーン

- ・クスノキ、ケヤキ、ソメイヨシノで構成する南海千代田駅方面からやこども園前広場北側からのエントランスゾーン

E：緩衝緑地ゾーン

- ・クスノキやケヤキ等の樹木の緑を活かした緑に囲まれたゾーン

F：緑のトンネルゾーン

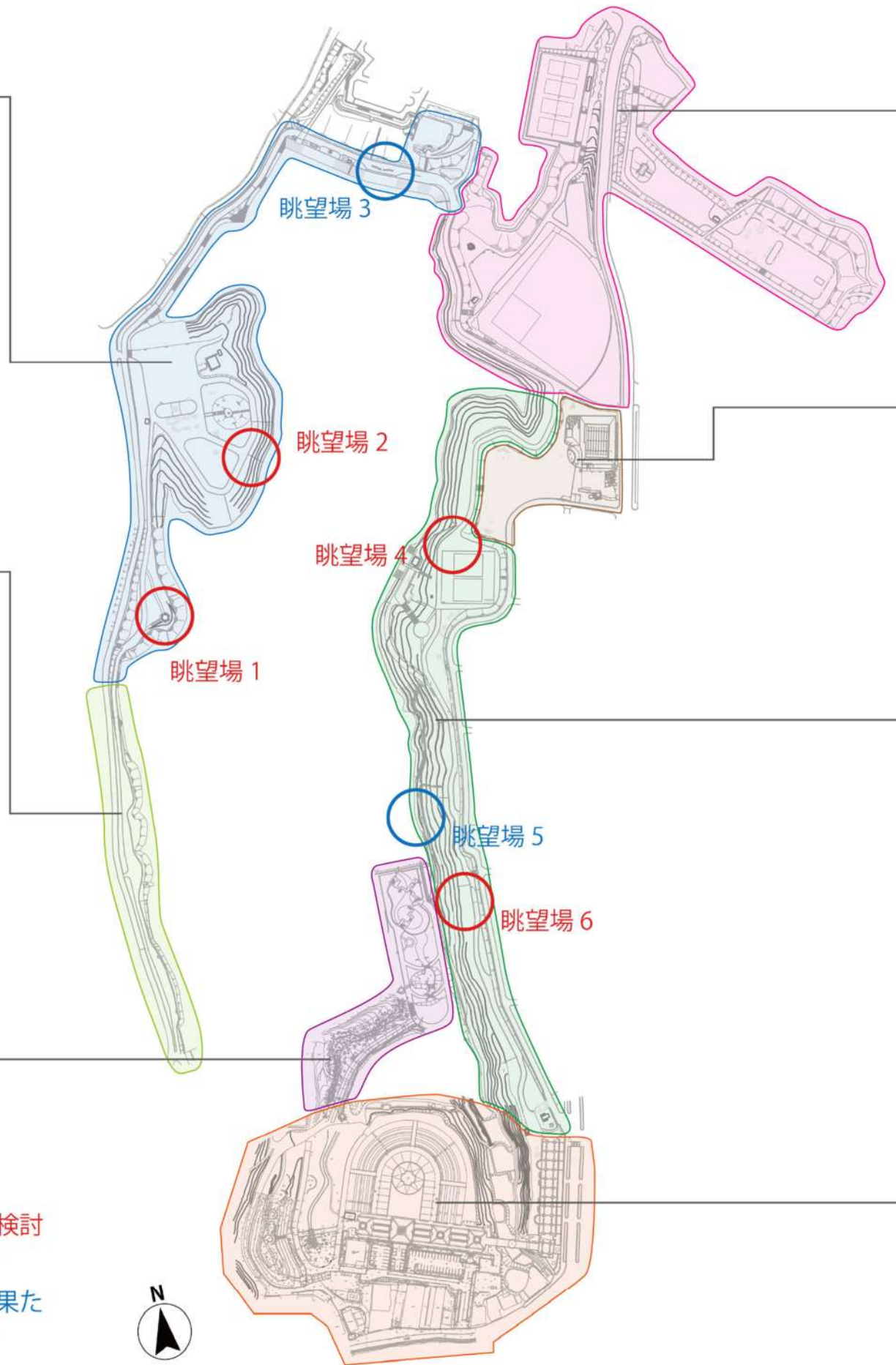
- ・クスノキやケヤキを中心とした緑の園路空間を活かした緑陰が十分に確保されたゾーン
- ・主に散歩等の短時間の滞在ができる空間を創出

G：四季の植栽広場ゾーン

- ・アメリカフウやソメイヨシノ、ミモザ等季節の移り変わりを楽しめるゾーン
- ・植栽景観を楽しみながら、遊び空間やイベント空間として利用できる比較的最長い時間滞在できる空間を創出

○ パースを用いた検討を行った眺望場

○ 既に十分機能を果たしている眺望場



【ゾーン別植栽整備方針図】

A：紅葉・寺ヶ池の学びゾーン
 将来計画として、広場空間が整備される予定であり、貴重な溜まり空間として活用されることが想定される。また、寺ヶ池への眺望スポットでもあるため、寺ヶ池と現況植栽の魅力を最大限引き出す植栽景観設計を行う。

B：紅葉・桜の園路ゾーン
 現在、歩行空間として整備されており、適度に緑陰を形成できる植栽景観・配置となっているため、可能な限り保存

C：花菖蒲の庭園のゾーン
 現在、菖蒲園として設計されており、東西の樹林や南側の果樹園に囲まれた落ち着いた空間として整備されており、既に植栽景観として確立しているため、可能な限り保存

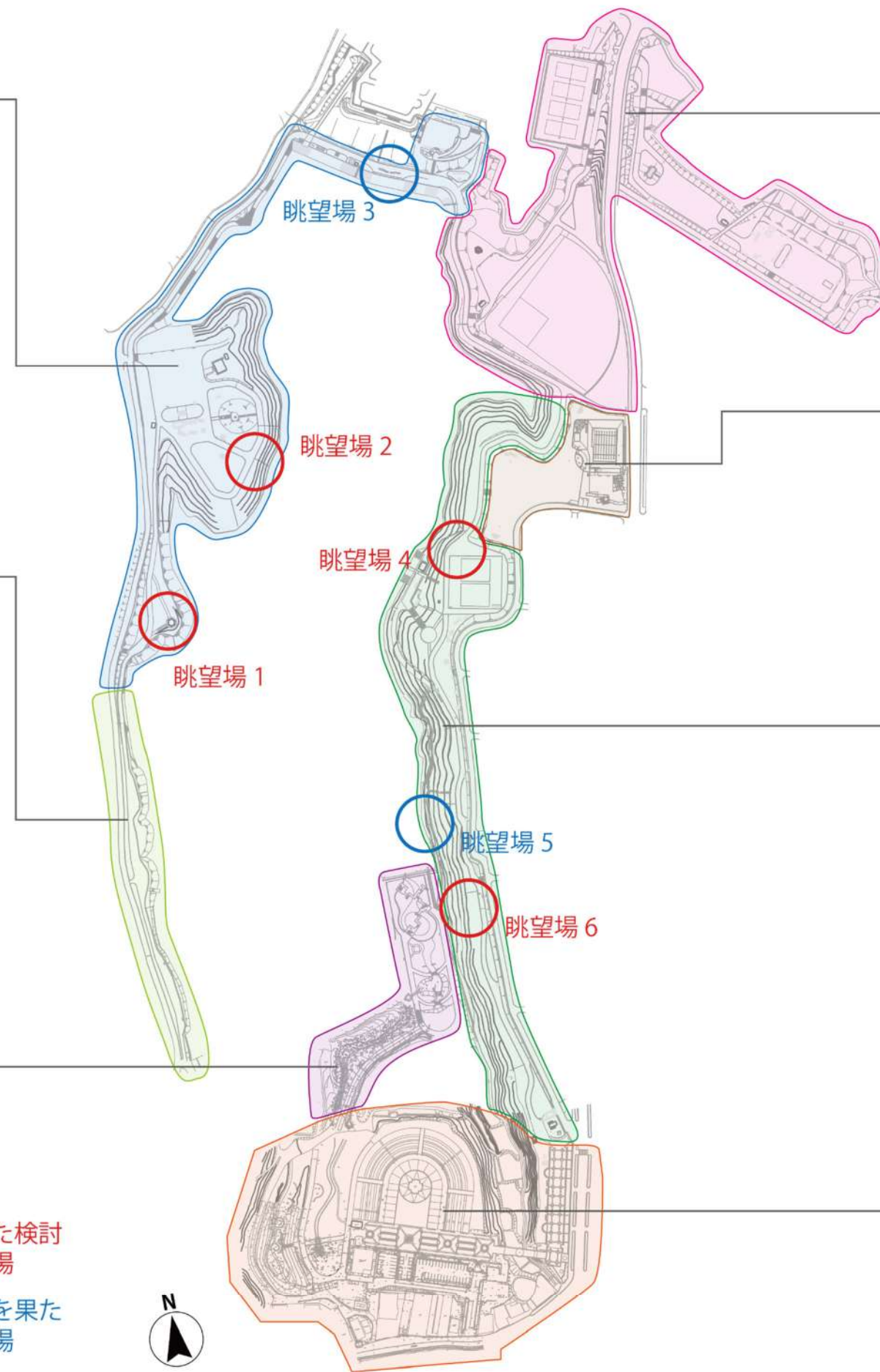
D：緑・桜のエントランスゾーン
 南海千代田駅のエントランス空間であるものの、やや圧迫感の感じられる空間となっているため、現況の植栽景観の魅力を最大限に引き出すよう、現況樹木を整理する

E：緩衝緑地ゾーン
 将来的に、駐車場として整備される計画であり、かつ、対岸からの見た際に、樹木が寺ヶ池の背景として機能しているため、可能な限り保存

F：緑のトンネルゾーン
 樹木が園路を包むように成長しており、緑陰豊富な歩行空間として確率している。また、対岸からの見た際に、樹林が寺ヶ池の背景として機能しているため、可能な限り保存

G：四季の植栽広場ゾーン
 現在、同業務の基本設計にて設計中のため、設計コンセプトや内容に調和する植栽を配置する。

- パースを用いた検討を行った眺望場
- 既に十分機能を果たしている眺望場



1.2 ゾーン別の植栽整備方針について

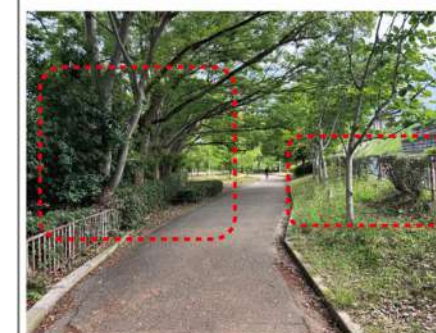
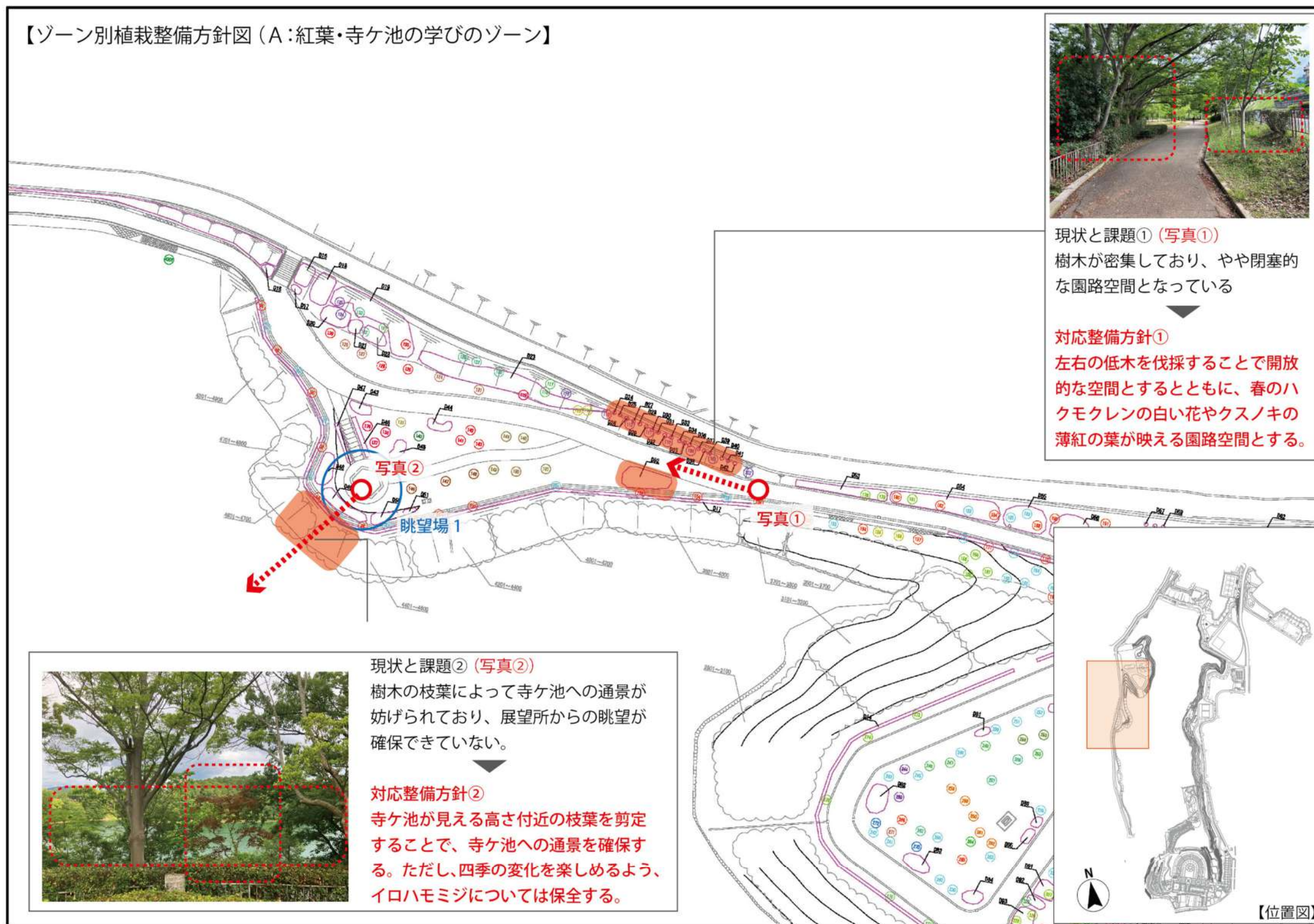
■ゾーン別の詳細な現状把握と対応整備方針

- ▶ゾーンごとに景観上重要な箇所についてより詳細な現状把握を行い、整理した。
- ▶現状の課題に対する植栽整備方針について検討した。

■眺望箇所における植栽景観検討

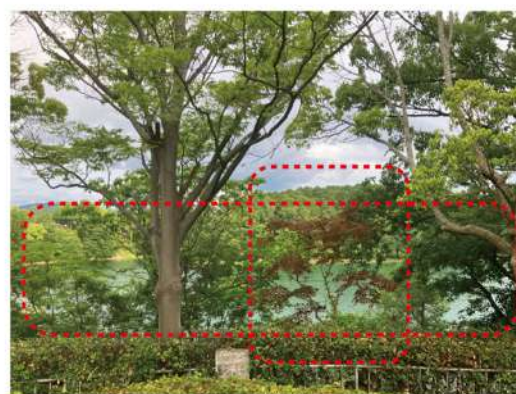
- ▶景観上、主要な眺望場所となりうる箇所を抽出した。
- ▶各眺望場所における植栽の整備方針について整理した。

【ゾーン別植栽整備方針図（A：紅葉・寺ヶ池の学びのゾーン）】



現状と課題①（写真①）
樹木が密集しており、やや閉塞的な園路空間となっている

対応整備方針①
左右の低木を伐採することで開放的な空間とするとともに、春のハクモクレンの白い花やクスノキの薄紅の葉が映える園路空間とする。



現状と課題②（写真②）
樹木の枝葉によって寺ヶ池への通景が妨げられており、展望所からの眺望が確保できていない。

対応整備方針②
寺ヶ池が見える高さ付近の枝葉を剪定することで、寺ヶ池への通景を確保する。ただし、四季の変化を楽しめるよう、イロハモミジについては保全する。



【位置図】

眺望場 1



⇒寺ヶ池への眺望が確保できたが、季節感に乏しい

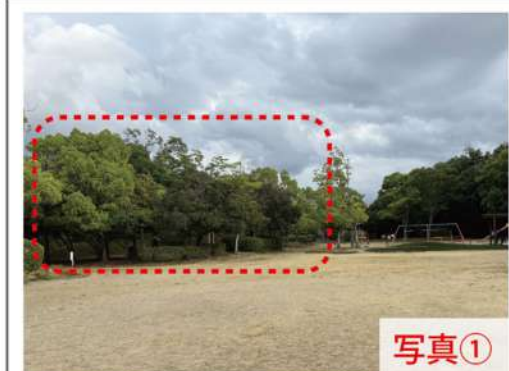
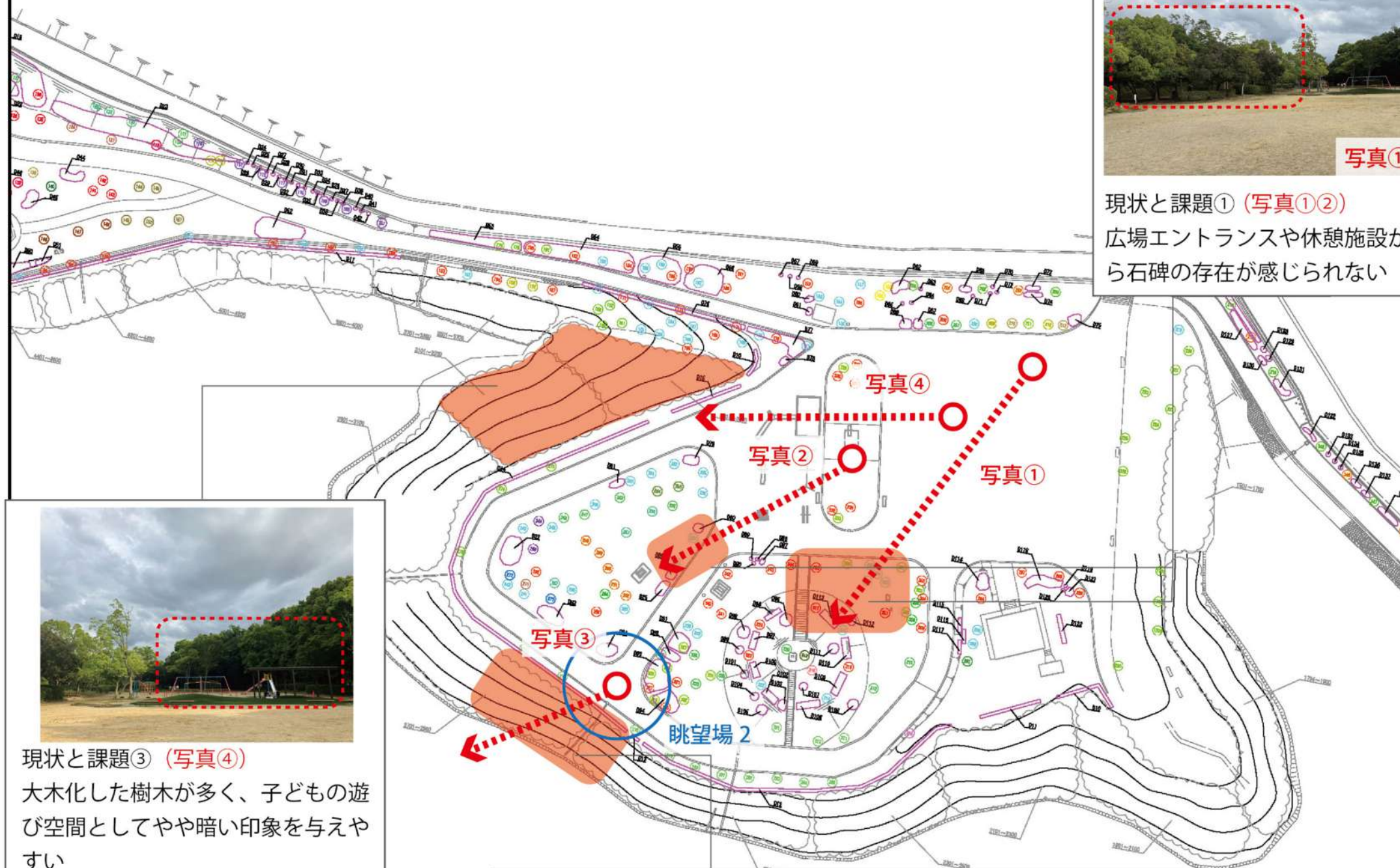


⇒シンプルな寺ヶ池の景観にモミジが彩りを与える添景となる



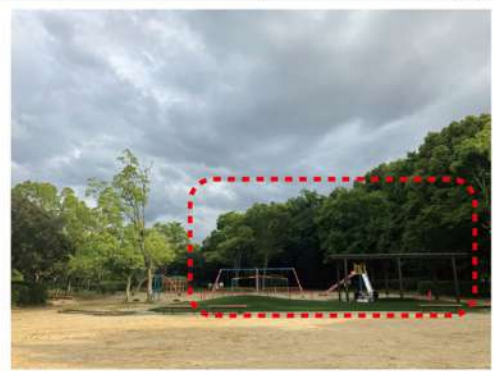
⇒寺ヶ池への見通しは格段としてよくなるが、やや単調な印象である

【ゾーン別植栽整備方針図（A：紅葉・寺ヶ池の学びのゾーン）】



現状と課題① (写真①②)
 広場エントランスや休憩施設から石碑の存在が感じられない

対応整備方針①
 石碑への通景を確保するために、間引きを行う



現状と課題③ (写真④)
 大木化した樹木が多く、子どもの遊び空間としてやや暗い印象を与えやすい

対応整備方針③
 開放的な空間とするため間引きを行う。ただし、当該樹林はドングリを実らせる樹木（クヌギやアラカシ）があり、子どもの遊び要素として活用できるため、クヌギやアラカシを保全し、クスノキを中心に伐採する

現状と課題② (写真③)
 園路から寺ヶ池の存在が感じられない

対応整備方針②
 寺ヶ池への通景を確保するために、間引きを行う



【位置図】

眺望場 2



⇒柵を通して木々の隙間から寺ヶ池を望むシーケンスを提供できる



⇒わずかに寺ヶ池が眺められるが、まだほとんど眺められない

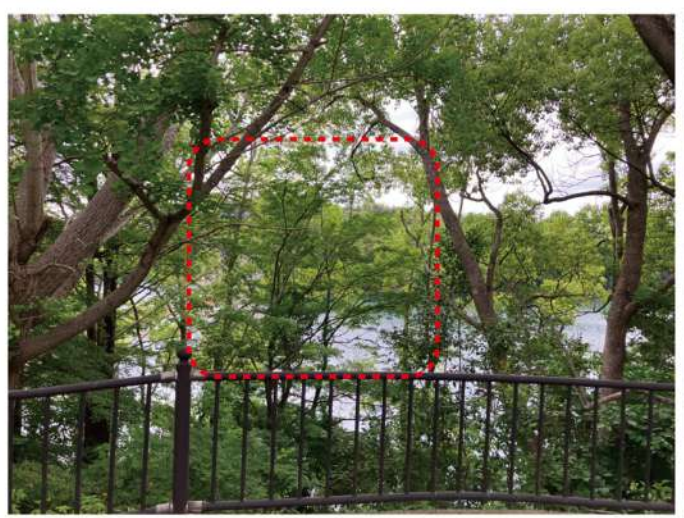
【ゾーン別植栽整備方針図 (F:緑のトンネルゾーン)】



眺望場 4

写真①

【位置図】



現状と課題① (写真①)
 樹木の枝葉によって寺ヶ池への通景が妨げられており、展望所からの眺望が確保できていない。

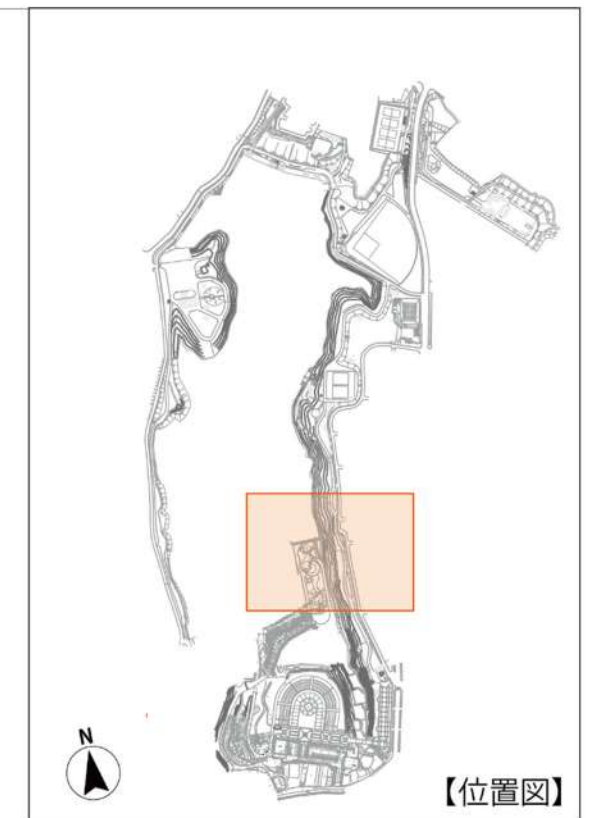
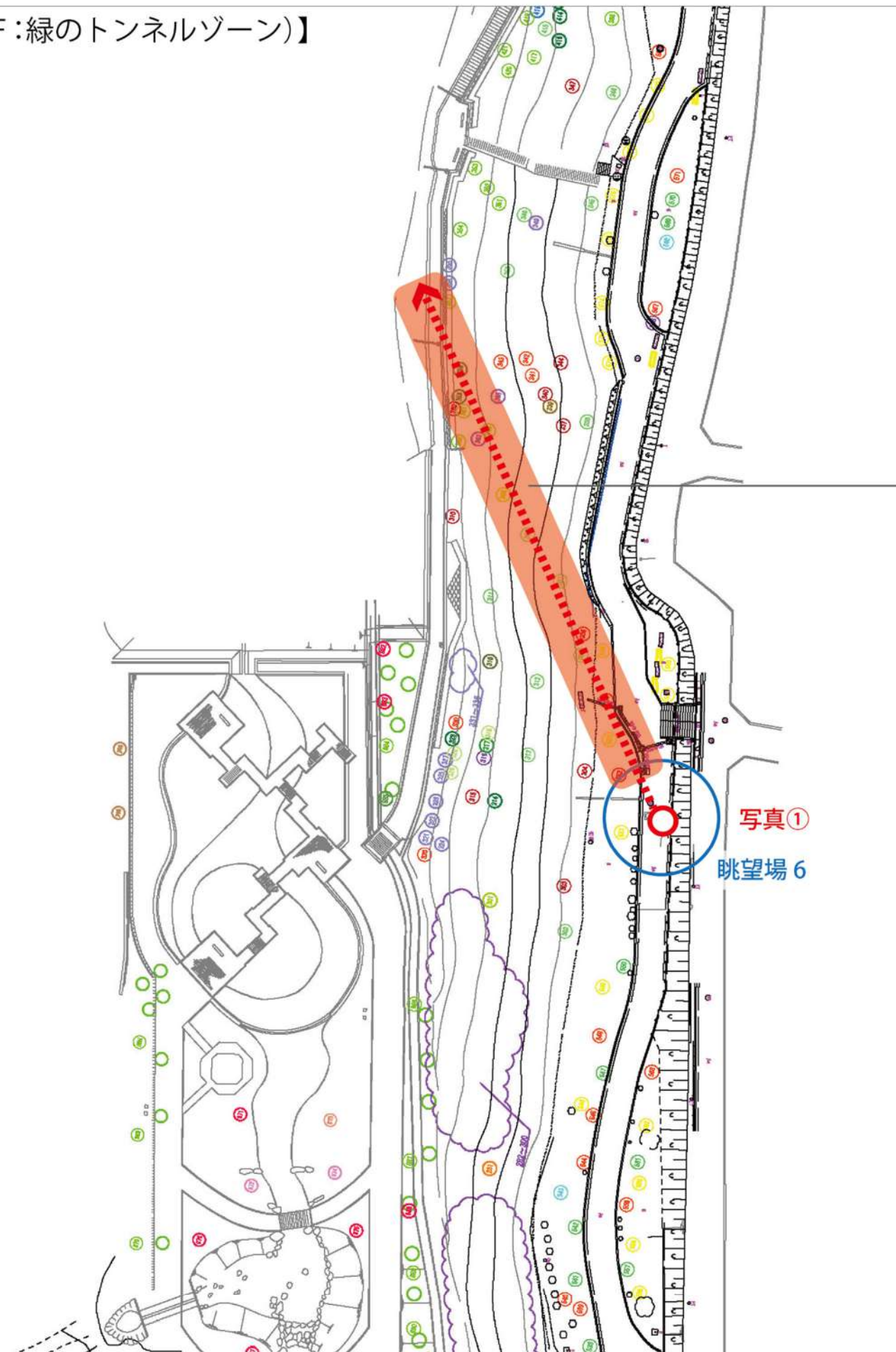
対応整備方針①
 寺ヶ池が見える高さ付近の枝葉を剪定することで、寺ヶ池への通景を確保する。ただし、強剪定となる樹木については樹形の乱れ等につながるため伐採を検討する。

眺望場 4



⇒木々の隙間から寺ヶ池を眺めることができる

【ゾーン別植栽整備方針図（F：緑のトンネルゾーン）】



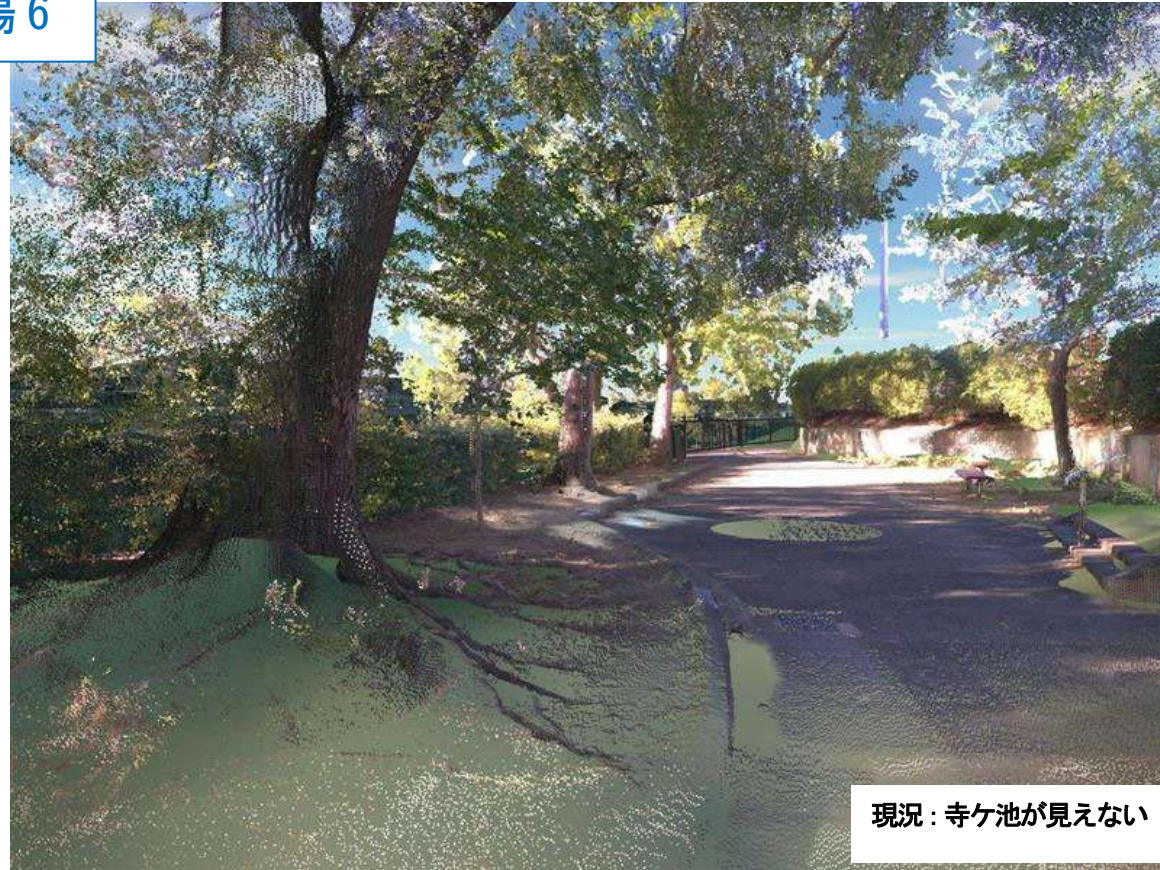
現状と課題① (写真①)

樹木の枝葉によって寺ヶ池への通景が妨げられており、展望所からの眺望が確保できていない。

対応整備方針①

寺ヶ池が見える高さ付近の枝葉を剪定することで、寺ヶ池への通景を確保する。ただし、強剪定となる樹木については樹形の乱れ等につながるため伐採を検討する。

眺望場 6



⇒木々の隙間から寺ヶ池を望むシーケンスを提供できる



⇒まだ寺ヶ池が見えない

【ゾーン別植栽整備方針図（G：四季の植栽広場ゾーン）】

→ 四季の広場における詳細な植栽計画は、次章【四季の広場周辺基本設計】において整理する。

現状と課題⑥ (写真⑥)
 斜面のユキヤナギから天端のカワツザクラやシダレザクラなどが連続した景観を創出している。



現状と課題⑦
 コニファーの常緑樹がロックガーデンへの視界をさえぎっている。

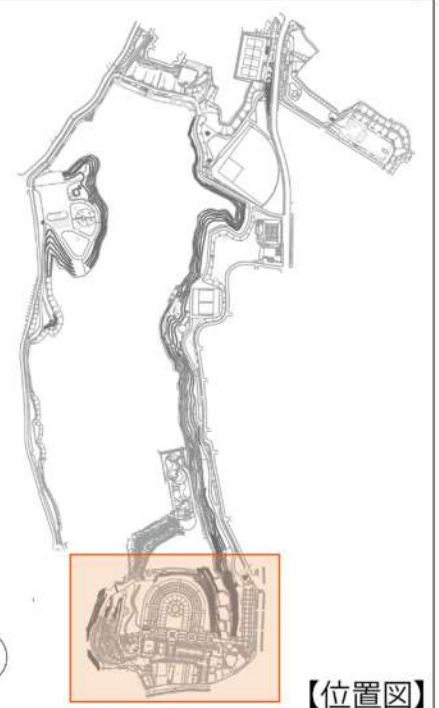
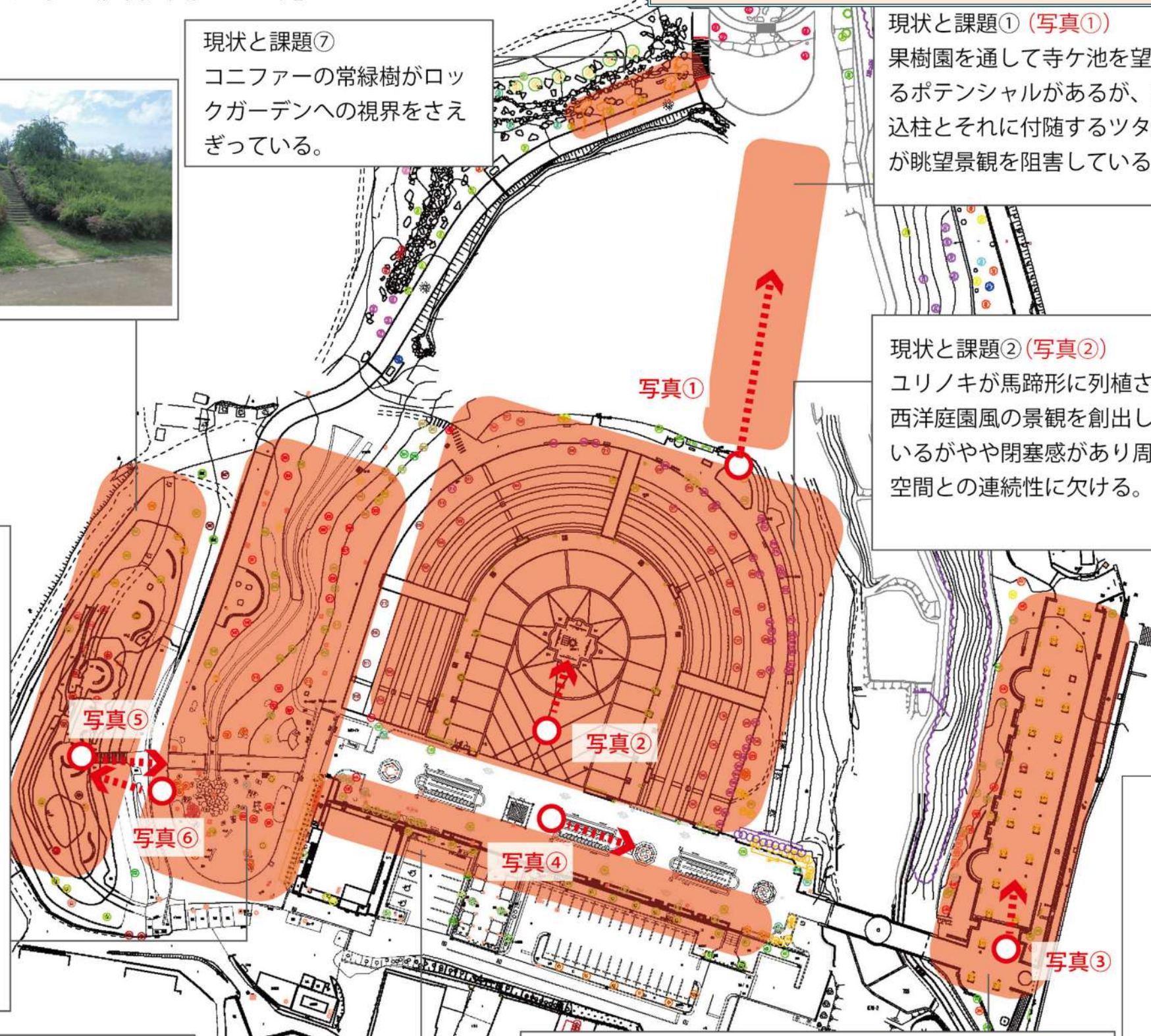
現状と課題① (写真①)
 果樹園を通して寺ヶ池を望めるポテンシャルがあるが、引込柱とそれに付随するツタ類が眺望景観を阻害している。



現状と課題② (写真②)
 ユリノキが馬蹄形に列植され西洋庭園風の景観を創出しているがやや閉塞感があり周辺空間との連続性に欠ける。



現状と課題⑤ (写真⑤)
 アメリカフウやマテバシイといった木の実がなる木が多く植栽され自然な景観を創出している。かしのき山から見たときにやや密であり、金剛山への眺望をさえぎっている。



【位置図】

現状と課題④ (写真④)
 ミモザが植栽され、満開時には人気の撮影スポットとなっているが、連続性にやや欠ける。



現状と課題③ (写真③)
 イチョウの列植による並木を形成しているが、やや密であり水路側のケヤキやクスノキの緑陰となり生育が悪い

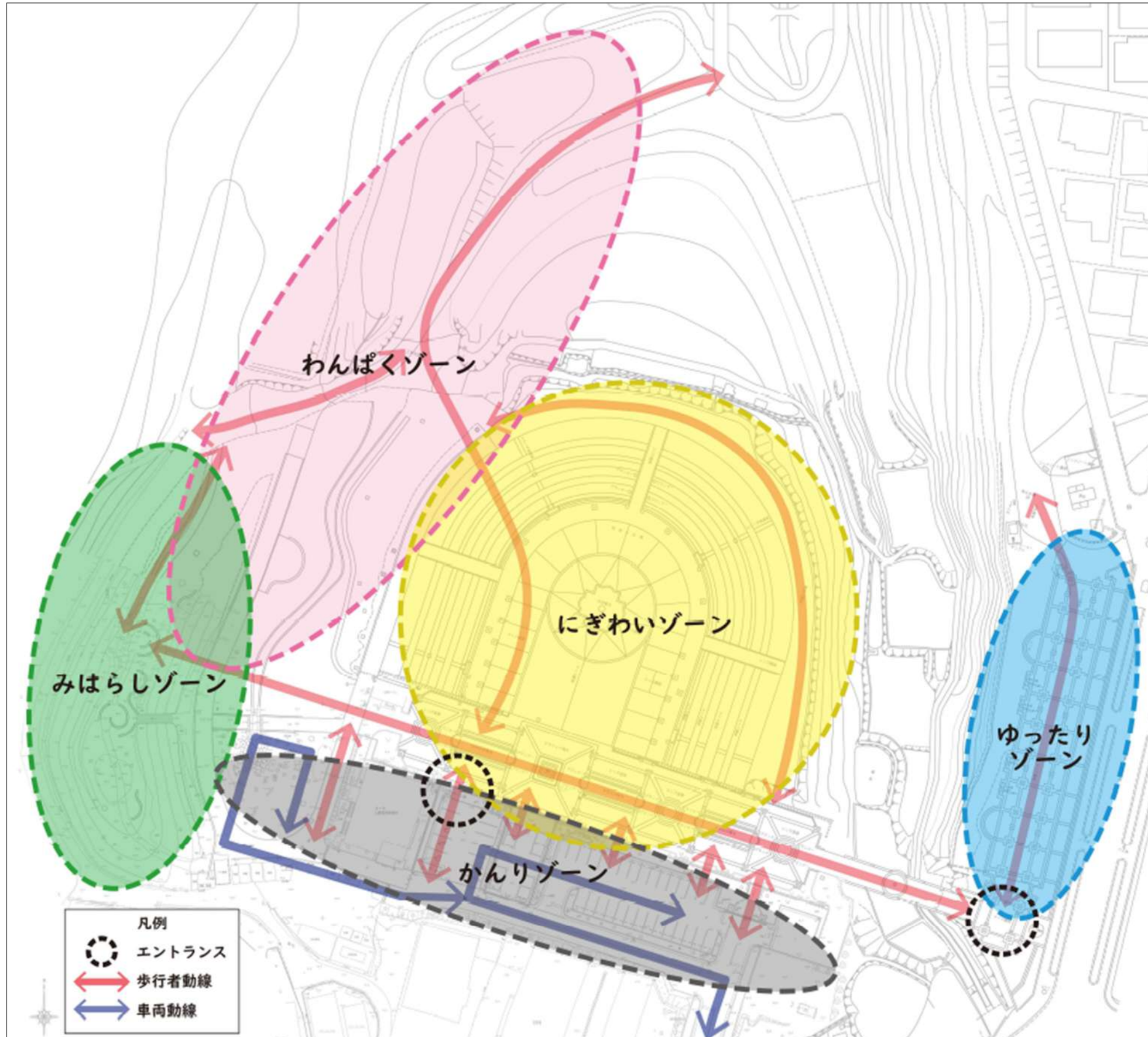


2. 四季の広場周辺基本設計

2.1 ゾーニングについて

■第1回検討会（2025年12月18日開催）の振り返り

➢ 前回の検討会では四季の広場における空間ゾーニングを検討した。



▼各ゾーニングの機能

みにぎわいゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の休憩、交流スペース ・イベントのメイン開催場所 ・ボール等を用いた自由な遊び場 ・雨天時や天候の急変にも対応できる屋根施設
わんぱくゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・既存地形の高低差を活かし、年齢別で遊べる遊具を設置した遊び場 ・水遊びができるスペース
みはらしゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・かしの木山の頂上から四季の広場周辺や周辺の景色を眺めることができるスペース
ゆったりゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の散歩ルートとして木陰や花々の季節を楽しめるスペース ・イベントのサブ開催場所
かんりゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・一般利用者、関係者用の駐車場 ・管理事務所

2.2 市民意向調査 (WS・社会実験) について

■WSの振り返りと検討への反映

➤ 全5回のワークショップの結果を項目ごとに整理し、基本設計の検討への反映事項を整理した。

第1回検討委員会
(2025.12.18)

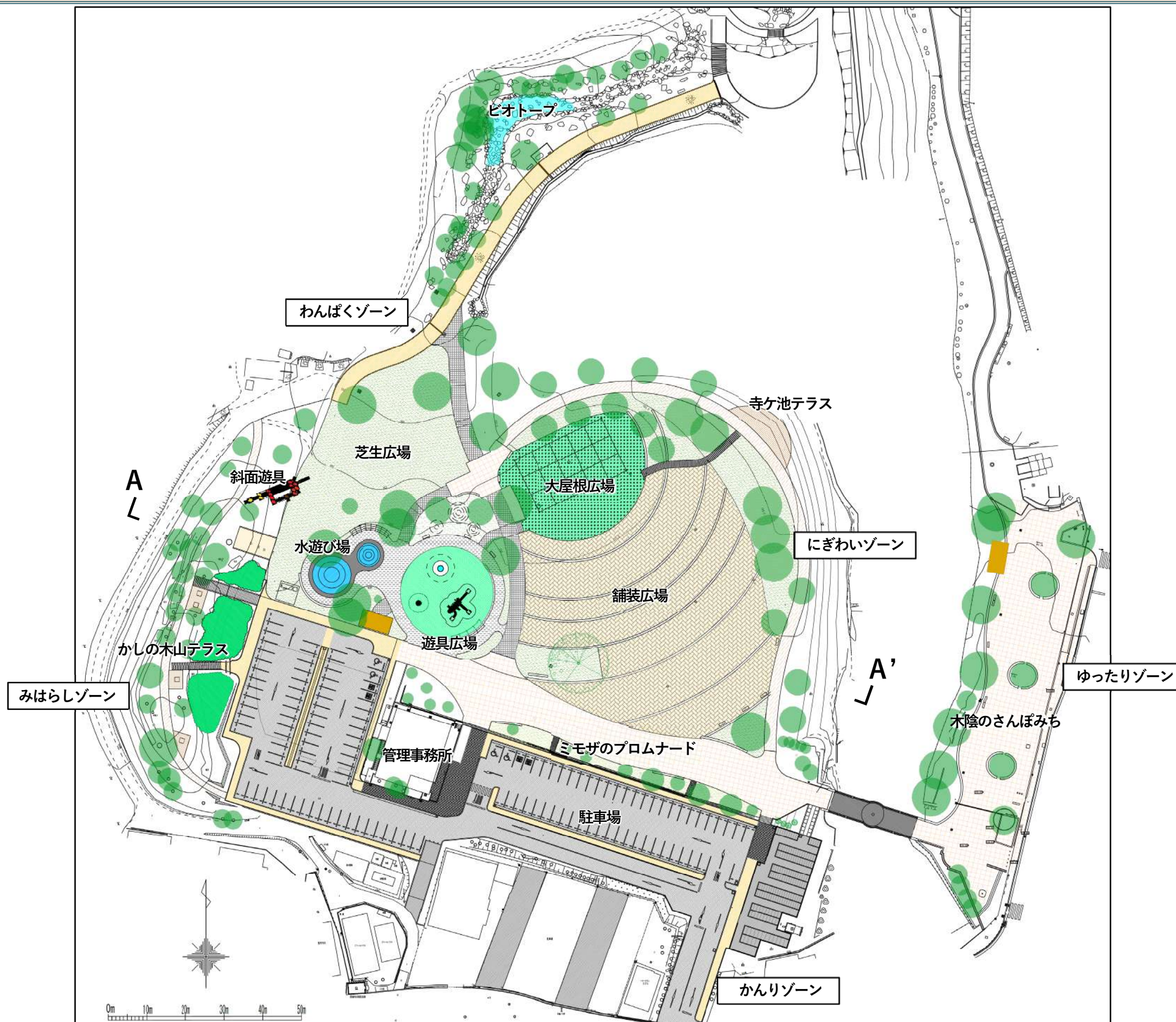
	第1回 WS (2025.09.13)	第2回 WS (2025.10.18)	第3回 WS (2025.11.02-03)	ゾーニングの検討	第4回 WS (2025.12.13)	第5回 WS (2026.1.24)	基本設計への反映事項
イベント	・屋外コンサートの開催 ・イベントをもっと開催してほしい ・お祭りをして楽しむ ・キッチンカーが並ぶマルシェ	・イベントや音楽祭、ステージライブ ・イルミネーション ・土いじりのイベント ・アイススケート		【にぎわいゾーン】 ・地域住民の休憩、交流スペース ・イベントのメイン開催場所 ・ボール等を用いた自由な遊び場 ・雨天時や天候の急変にも対応できる屋根施設	・休憩できる芝生広場、大屋根、テーブルベンチ ・寺ヶ池を眺めるテラス ・キッチンカーの誘致 ・広場正面にサイン ・四季を感じる樹木や地被類 ・ミモザなど季節の花の撮影スポット ・自然を楽しめるウォーキングコース	○大屋根がありゴロゴロできる ・大屋根広場にステージや起伏があってもいい ○広い舗装広場 ○寺ヶ池を眺めるテラス ・池を眺めるためにツルや樹木の剪定が必要 ○シンボルモニュメント ・シンボルツリーの周りにお花を植えたい	⇒ ・芝生広場や大屋根などの休憩空間を配置しつつ、多目的利用や大規模イベントの開催にも対応できるような舗装エリアの拡大を検討する。 ・ミモザや花壇など既存の植栽を活かし、四季を楽しめる空間とする。 ・寺ヶ池を眺められるテラスを検討する。
	遊び	・広大な遊具エリアが欲しい ・大きな滑り台 ・トランポリン ・地形を使った遊び ・かくれんぼ、鬼ごっこ ・アスレチックの遊び ・こどもと自然体験 ・水遊び ・木の実の採集 ・防災を意識した遊び、キャンプ	・地形を活かした遊び ・丘滑り、丘を活かした滑り台 ・水辺で遊べるスペース ・ピオトープ、生物観察 ・木の実拾い、虫取り				
運動	・広場を芝生にしてヨガ ・ラジオ体操 ・犬を遊ばせる、ドッグラン ・ボール遊び、バスケの練習 ・自転車の練習	・平日の朝にお散歩 ・丘の上へ散歩 ・ランニング、ウォーキング ・スケートボード、ストライダー ・自転車練習		【みはらしゾーン】 ・かしの木山の頂上から四季の広場周辺や周辺の景色を眺めることができるスペース	・河津桜やユキヤナギなどの既存樹木の保全 ・テーブルベンチや眺望テラス	○今ある樹木が残っている ○景色を見ながら休憩できて良い ○テーブルベンチが良い ・山から寺ヶ池が見えると良い ・階段が急なので、手摺が必要	⇒ ・既存樹木の保全や景観に配慮しつつ、広場や周辺を眺められる休憩施設の配置を検討する。
休憩	・休めるところ ・お花見 ・金剛山のご来光を見て楽しむ	・寺ヶ池公園を眺めながら休憩 ・花壇や木陰で休憩 ・景色や金剛山のご来光を眺める	・テーブルベンチで休憩 ・屋根や木陰などで雨・日差しをしのぎながら休憩 ・芝生の上で休憩				
飲食	・カフェ ・BBQ	・家族でピクニック ・見えるところにキッチンカー ・コーヒー販売 ・テラス席のあるカフェ、果樹園と連携した屋外カフェ		【かんりゾーン】 ・一般利用者、関係者用の駐車場 ・管理事務所	・分かりやすい公園マップ ・駐車場、駐輪場 ・綺麗なトイレ	○駐車場も混雑しなくなる ・駐車場の良い樹木を数本残さないか ・年寄りも楽しめる場、カフェが欲しい	⇒ ・トイレの配置場所について他ゾーンとの兼ね合いも考慮しつつ検討する。
その他	・ミモザを残して欲しい ・メインとなる花やコンテンツがあると良い ・フォトスポットになるエントランス看板 ・舗装エリアが広がると良い ・小川が流れてほしい ・かしの木山を残してほしい ・河津桜やユキヤナギの維持管理によりイメージを明るく ・寺ヶ池が見やすくなると良い ・駐車場を大きくしてほしい ・噴水の復活	・寺ヶ池水路の看板で学習 ・モニュメント ・バス通りから見えやすい広場 ・色々なお花が見れる ・管理者と市民で水の再利用 ・広場から山までの一体的な利用 ・トイレの改修	・みんなが安心して過ごせる ・子どもも大人も楽しめる ・1年を通して楽しめる広場 ・季節を感じられる広場 ・綺麗なトイレ				

過年度成果のアンケートも踏まえて
整備イメージ・導入施設を検討

2.3 基本設計図について

■基本設計図の作成

- 検討をもとに基本設計図の作成を行った。

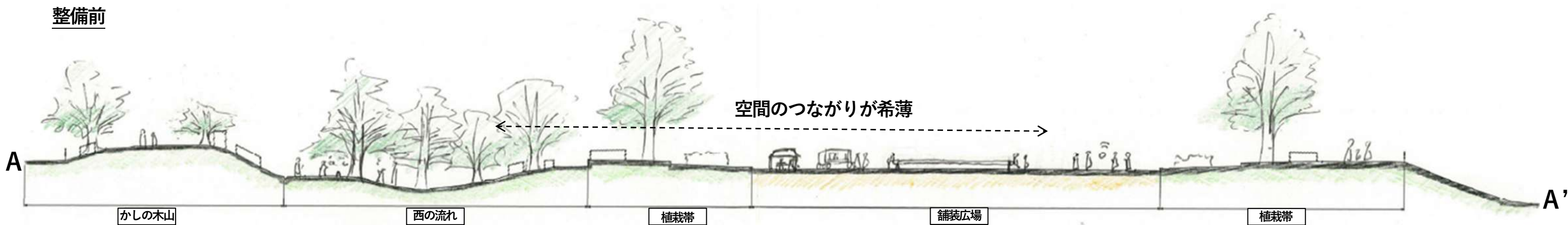


※本案は現時点での案であり、今後変更される可能性があります。

■横断面図の作成

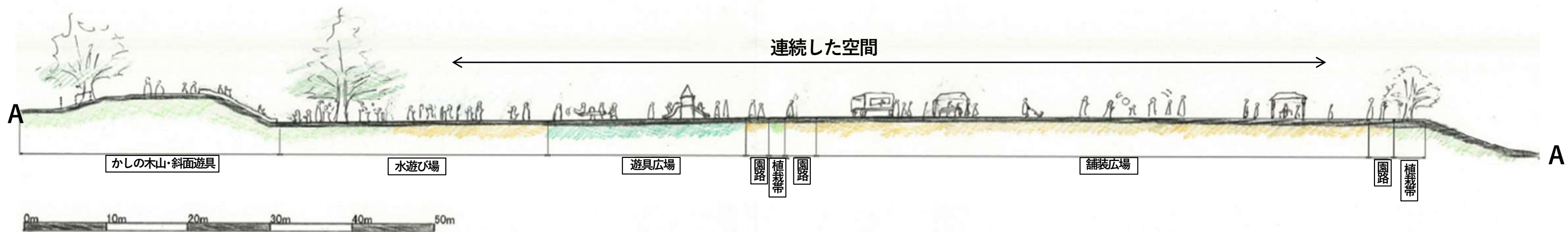
➤ 横断面図より地形変化について検討した。

整備前



舗装広場と西の流れの間にある地形の起伏や植栽帯を解消し、
舗装広場から遊具広場やかしの木山までつながる連続した空間構成とする。

整備後

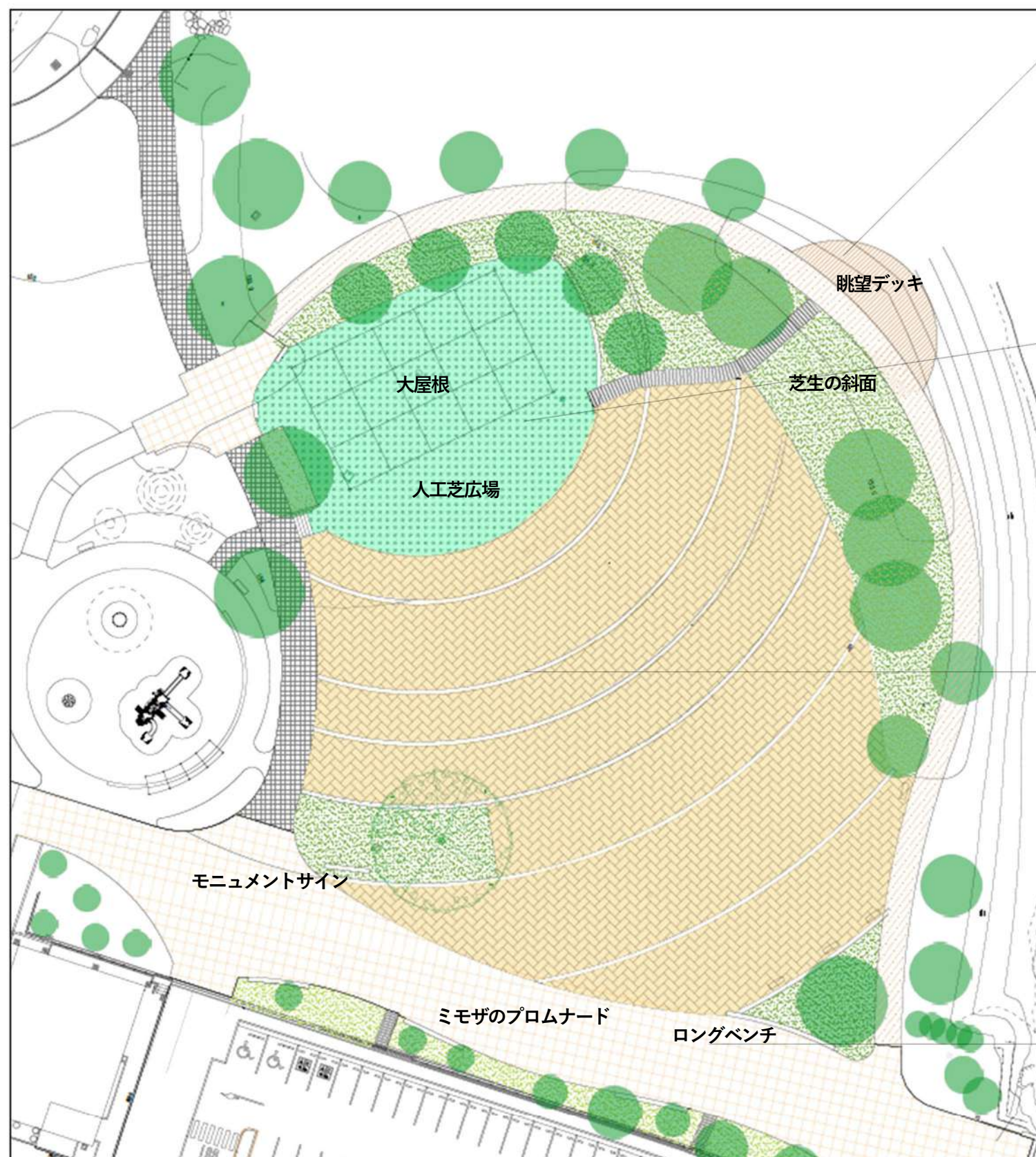


2.4 各ゾーンの設計方針について

■各ゾーンにおける設計方針と施設配置検討

- 各ゾーンにおいて、設計方針をもとに施設配置の検討を行った。

◆にぎわいゾーン



寺ヶ池テラス

北方向に寺ヶ池を眺められるデッキを配置
南西方向へは広場を俯瞰することができる



大屋根広場

大屋根の下で寝転んだり、くつろいだりできる人工芝の広場
舗装広場を見れるよう広場奥側に配置



舗装広場

日常利用からイベント利用まで多様な使い方ができる舗装広場
造成により平場を多く確保

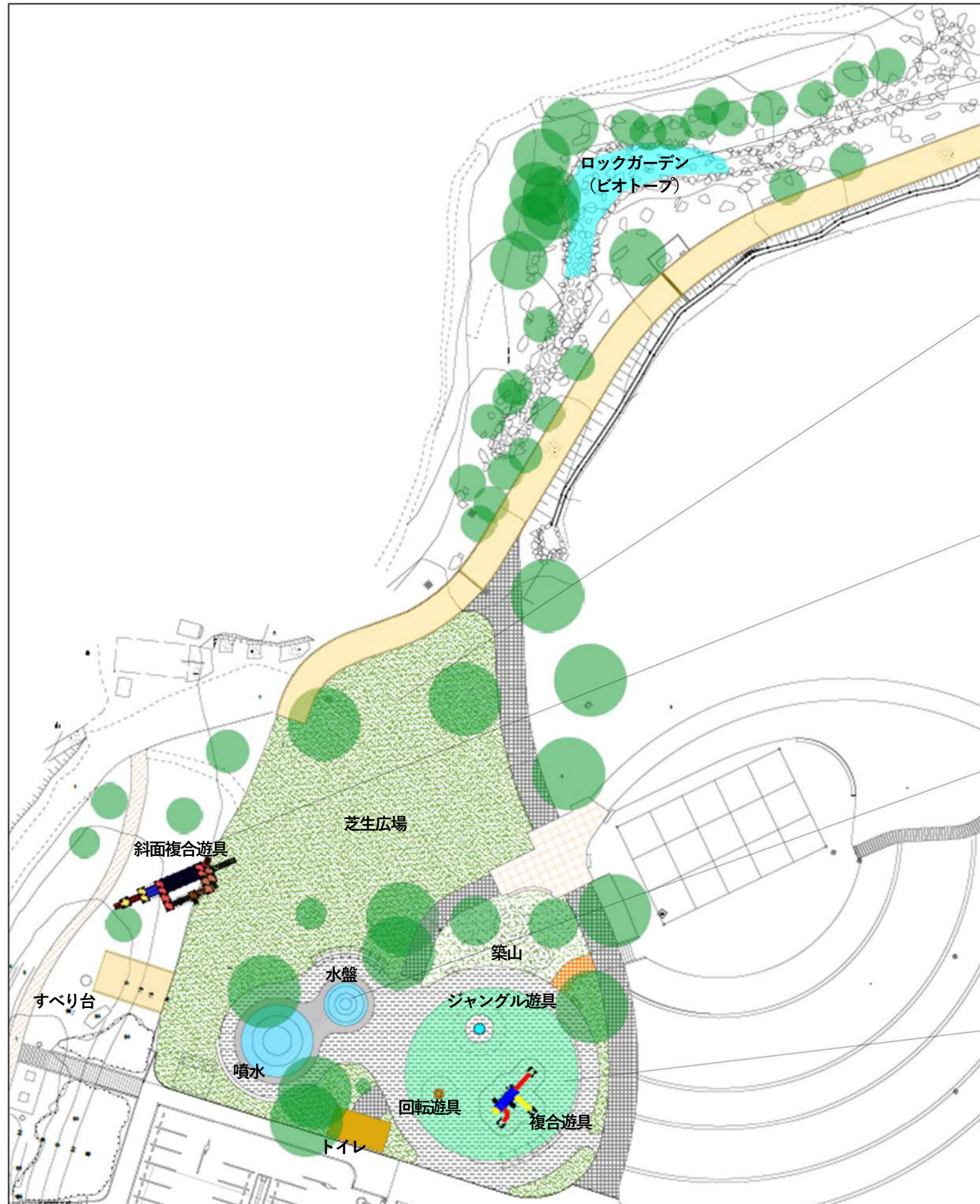


ミモザのプロムナード

植栽帯を拡張し、ミモザを中心に季節の花を取り入れたメイン園路



※本案は現時点での案であり、今後変更される可能性があります。



ビオトープ

雨水がたまり、生き物が自然と集まるロックガーデン



芝生広場

緩やかな勾配があり、自由に走り回れる広場



斜面遊具

かしの木山の斜面を活かした、小学生も楽しめる複合遊具やすべり台



水遊び場

噴水や水盤で水遊びができる広場
斜面遊具とみんなの遊び場に配置することで、エリアを区分



みんなの遊び場

未就学児向けの遊具を中心に多様な子どもと一緒に楽しめるインクルーシブ遊具や複合遊具を配置



※本案は現時点での案であり、今後変更される可能性があります。



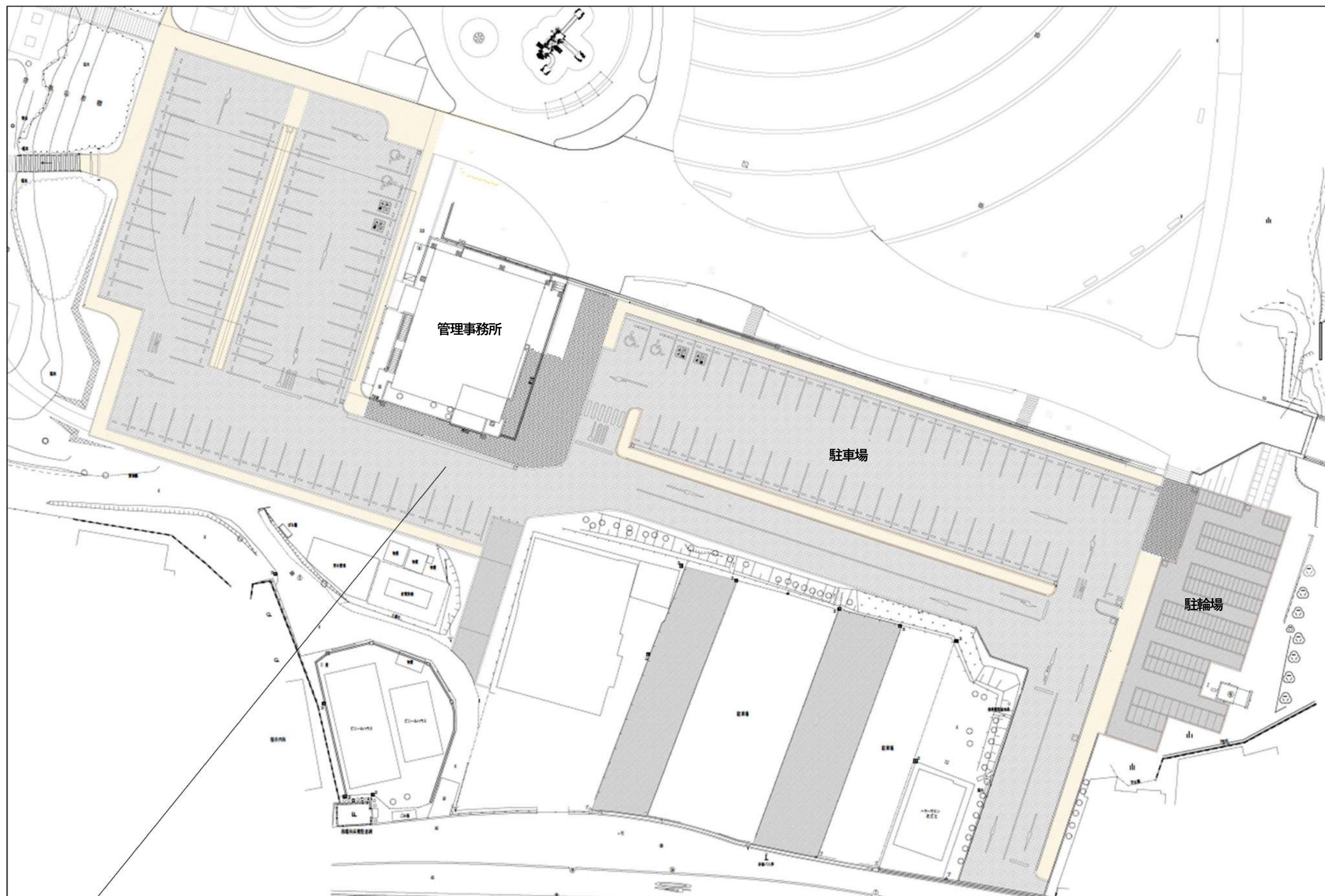
かしの木山テラス
公園や金剛山を眺めながら過ごせるかしの木
山のテラス
様々な視点から楽しめるよう複数箇所配置

※本案は現時点での案であり、今後変更される可能性があります。



木陰のさんぽみち
安全性やイベント時の利用
を考慮して、歩道と一体に
つながった園路を整備
既存樹を活かした木陰を創
出





※本案は現時点での案であり、今後変更される可能性があります。

駐車場

未活用地を駐車場へ機能転換し、駐車台数を確保

車道は一方通行とし、各駐車区画の後ろに荷下ろし用のスペースとしての歩道を設け、車道との動線を分離させる

2.5 植栽計画について

◆わんぱくゾーン（ビオトープ周辺）

- ・ビオトープへの視認性やアクセス性を高めるためビオトープ付近の列植された常緑樹（コニファー）は伐採を検討。
- ・園路沿いのサルスベリやトウカエデ、ハナモモは彩りを与える樹木として活かす。

主な植栽構成

- ・既存樹（高木）：トウカエデ、サルスベリ、ハナモモ、メタセコイア

◆わんぱくゾーン（芝生広場・遊具広場周辺）

- ・自然遊びの場を創出するため、木の実がなる既存樹を積極的に残す。
- ・芝生広場は中央部で自由に遊べるよう樹木を配置せず、広場周辺に日陰を確保する高木を配置する方針とし、既存樹の活用や新植を検討。
- ・かしの木山から金剛山への視界をさえぎる樹木群については、適度な間引きを検討。

主な植栽構成

- ・既存樹（高木）：アメリカフウ
- ・新植（高木）：ユリノキ、ケヤキ、クヌギ、アラカシ等

◆みはらしゾーン（かしの木山周辺）

- ・斜面のユキヤナギから天端のカワツザクラやシダレザクラの連続した景観が創出されていることや住民に親しまれていることから、かしの木山周辺は既存植栽を維持する。

主な植栽構成

- ・既存樹（高木）：カワツザクラ、シダレザクラ、ソメイヨシノ、エノキ、アラカシ
- ・新植（高木）：ソメイヨシノ
- ・補植（低木）：ユキヤナギ

◆にぎわいゾーン（ミモザのプロムナード周辺）

- ・植栽帯を広げ、ミモザや住民ボランティアの花壇により華やかなエントランス空間を演出する。

主な植栽構成

- ・既存樹（中木）：ミモザ
- ・新植（中木）：ミモザ
- ・新植（地被類）：住民ボランティアによる地植え花壇など

◆にぎわいゾーン（舗装広場・大屋根広場・寺ヶ池テラス周辺）

- ・広場のメイン樹木であったユリノキについては、造成後も残せるものは保全し、主園路沿いへもユリノキの新植を検討する。
- ・芝生の斜面で休憩やお花見ができるよう、既存のユリノキを活かしつつ、ソメイヨシノの新植を検討する。
- ・公園のメインエントランス空間として、クリスマスイベント等にも活用できるシンボルツリーの新植を検討する。
- ・テラスから寺ヶ池を眺められるよう景観を阻害しているツタ類は伐採する。

主な植栽構成

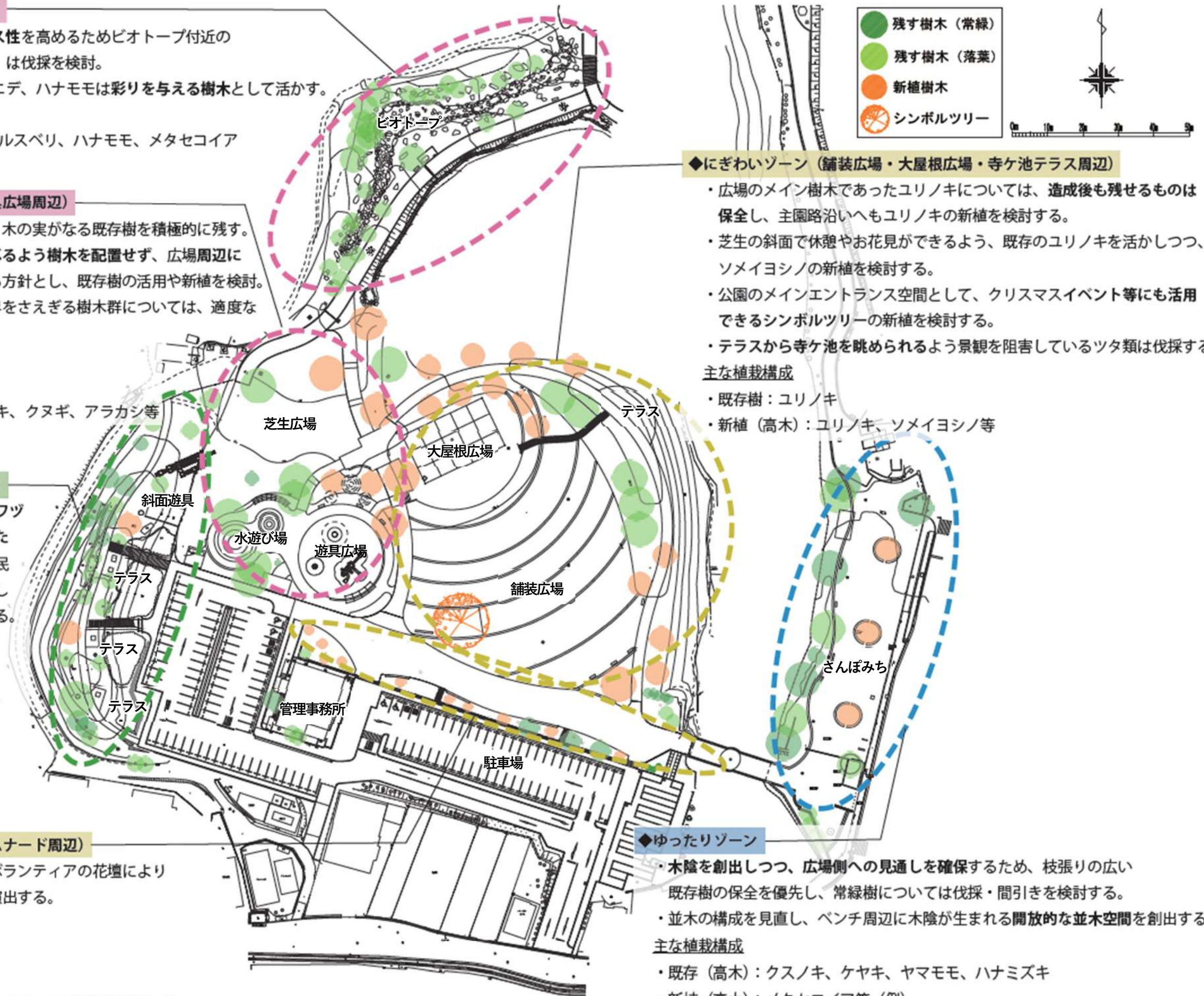
- ・既存樹：ユリノキ
- ・新植（高木）：ユリノキ、ソメイヨシノ等

◆ゆったりゾーン

- ・木陰を創出しつつ、広場側への見通しを確保するため、枝張りの広い既存樹の保全を優先し、常緑樹については伐採・間引きを検討する。
- ・並木の構成を見直し、ベンチ周辺に木陰が生まれる開放的な並木空間を創出する。

主な植栽構成

- ・既存（高木）：クスノキ、ケヤキ、ヤマモモ、ハナミズキ
- ・新植（高木）：メタセコイア等（例）



2.6 利用イメージについて

■利用者層を想定した計画

➤ 様々な利用者層を想定して検討を行った。

公園に訪れた 中高生の1日

- 1 **16:00**
駐輪場
学校から自転車で公園
へ向かい、駐輪場に自
転車を停める
- 2 **16:00-16:30**
**ミモザの
プロムナード**
綺麗なミモザを撮影し
SNSに投稿する
- 3 **16:30-17:30**
舗装広場
ダンスの練習をした後
に友達とおしゃべりを
する
- 4 **17:30-18:00**
大屋根広場
キッチンカーでタピオ
カを購入し、人工芝の
上で休憩する
- 5 **18:00-19:00**
管理事務所
事務所1階の多目的
スペースで自主勉強を
する
- 6 **19:00-20:00**
舗装広場
公園内のイルミネーシ
ョンを楽しんで帰宅す
る



公園に訪れた 子連れ家族の1日

- 1 **10:00**
駐車場
自家用車で来園し、トランクから
ピクニックセットを取り出す
背面通路から公園内へ移動する
- 2 **10:30**
管理事務所
事務所内にあるチラシを見て、
本日の催しの確認をする
水遊び用の水鉄砲を借りる
- 3 **10:30-11:30**
水遊び広場
子どもたちは噴水や水鉄砲で水
遊びをして楽しむ
親は隣接する芝生広場で見守り
ながら休憩する
- 4 **11:30-12:30**
芝生広場
木陰にレジャーシートを敷いて
持参したお弁当をみんなで食べる
- 5 **12:30-13:30**
遊具広場
子どもたちは色々な遊具で遊ぶ
親は近くのベンチで見守りながら
休憩したり、一緒に遊ぶ
- 6 **13:30-14:30**
ピオトープ
ピオトープまで散策する
ピオトープでは、子どもと一緒に
水中生物や昆虫を観察する
- 7 **14:30-15:30**
寺ヶ池テラス
池を眺めながら、キッチンカーで
買ったクッキーを食べて休憩する
その後、車で自宅へ帰る

公園に訪れた 老夫婦の1日

- 1 **12:00**
木陰のさんぽみち
木陰のさんぽみちから
歩いて来園する
- 2 **12:00-13:00**
寺ヶ池テラス
寺ヶ池テラスコースを
1周して、お花見散歩
をする
- 3 **13:00-14:00**
芝生広場
イベント中のドックラ
ンコーナーにてみんな
でくつろぐ
- 4 **14:00-14:30**
舗装広場
キッチンカーで
美味しいおやつを食べる
- 5 **14:30-15:30**
ピオトープ
テラスまでみんなで散
策し、山々を背景に写
真を撮る
- 6 **15:30-16:00**
トイレ
手足洗い場で綺麗にし
てから帰宅する